

科目名	編曲Ⅱ			担当講師	谷津 祐子		
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期間	3期・4期	総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
3期	よく使われるコードパターンについて理解し、意図するコード編曲ができる力を修得する。						
4期	楽曲のジャンルやスタイルについて理解し、総合的な編曲ができる力を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月17日	授業ガイダンス／コードの機能と進行					
2	10月24日	コードトーンとアポイド					
3	10月31日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ1					
4	11月7日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ1-2					
5	11月14日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ2					
6	11月21日	基本コードパターン 楽曲分析とアレンジ2-2					
7	11月28日	転調1					
8	12月5日	転調2					
9	12月12日	楽曲のジャンル・スタイル1					
10	1月16日	楽曲のジャンル・スタイル2					
11	1月23日	楽曲のジャンル・スタイル3					
12	1月30日	総合的な要素を含むアレンジ1					
13	2月6日	総合的な要素を含むアレンジ2					
14	2月13日	総合的な要素を含むアレンジ3					
評価方法	C評価 実技習得度で評価						
	平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	各自五線紙用意のこと／随時授業にてプリント配布						
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名	DTMⅡ				担当講師	水口 陽子		
講師実務経験	ピアノ講師							
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習	
期 間	3期・4期		総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標							
3期	前期で学んだ基本操作やMIDIデータでの表現法を活かし、楽曲制作に活かせるよう、より高度な編集を修得する。							
4期								
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	10月17日	総合的な練習課題① (K1-Liveまではそれに伴う制作も可)						
2	10月24日	総合的な練習課題②						
3	10月31日	総合的な練習課題③						
4	11月7日	総合的な練習課題④						
5	11月14日	総合的な練習課題⑤						
6	11月21日	総合的な練習課題⑥						
7	11月28日	総合的な練習課題⑦						
8	12月5日	総合的な練習課題⑧						
9	12月12日	総合的な練習課題⑨						
10	1月16日	後期課題制作①						
11	1月23日	後期課題制作②						
12	1月30日	後期課題制作③						
13	2月6日	後期課題制作④						
14	2月13日	後期課題制作⑤						
評価方法	実技習得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:C							
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト								
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名	作曲Ⅱ				担当講師	谷津 祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習	
期間	3期・4期	総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
3期	自分で楽曲の構成を組み立て、メロディーを作曲できる力を修得する。						
4期	さまざまなスケールについて理解し、自分の意図するメロディーが作曲できる総合的な力を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月18日	楽曲の構成についての分析1					
2	10月25日	分析をもとにした作曲					
3	11月1日	楽曲の構成についての分析2					
4	11月8日	分析をもとにした作曲					
5	11月15日	楽曲の構成についての分析3					
6	11月22日	分析をもとにした作曲					
7	11月29日	自由な構成での作曲1					
8	12月6日	自由な構成での作曲2					
9	12月13日	さまざまなスケール1					
10	1月17日	さまざまなスケール2					
11	1月24日	総合的な課題作曲1					
12	1月31日	総合的な課題作曲1-2					
13	2月7日	総合的な課題作曲2					
14	2月14日	総合的な課題作曲2-2					
評価方法	C評価 実技習得度で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	各回授業にてプリント配布						
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名	アンサンブルⅡ			担当講師	曾山良一/川畑統正/中田有紀/ 岸林大輔/木村圭子	
講師実務経験	プロミュージシャン					
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	40 回	1回あたりの授業時間		135(90) 分
期	修 得 目 標					
3期	ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成出来る力を修得する。					
4期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月12日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン1				
2	10月13日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン2				
3	10月18日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン3				
4	10月19日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン4				
5	10月20日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン5				
6	10月26日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン6				
7	10月27日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン7				
8	10月29日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン8				
9	11月1日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン9				
10	11月2日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン10				
11	11月8日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン11				
12	11月9日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン12				
13	11月10日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン13				
14	11月15日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン14				
15	11月16日	K-1ライブに向けた楽曲の制作と編曲、バンドアンサンブルレッスン15				
16	11月17日	K-1ライブに向けた最終チェック①				
17	11月22日	K-1ライブに向けた最終チェック②				
18	11月24日	K-1ライブに向けた最終チェック③				
19	11月29日	K-1ライブに向けた最終チェック④				
20	11月30日	K-1ライブに向けた最終チェック⑤				
21	12月1日	K-1ライブに向けた最終チェック⑥				
22	12月6日	K-1ライブに向けた最終チェック⑦				
23	12月7日	オリジナル曲作成①と伴奏編成				
24	12月13日	オリジナル曲作成②と伴奏編成				
25	12月14日	オリジナル曲作成③と伴奏編成				
26	12月15日	オリジナル曲作成④と伴奏編成				
27	1月17日	オリジナル曲作成⑤と伴奏編成				
28	1月18日	オリジナル曲作成⑥と伴奏編成				
29	1月19日	オリジナル曲作成⑦と伴奏編成				
30	1月24日	オリジナル曲作成⑧と伴奏編成				
31	1月25日	オリジナル曲作成⑨と伴奏編成				
32	1月31日	オリジナル曲作成⑩と伴奏編成				
33	2月1日	オリジナル曲作成⑪と伴奏編成				
34	2月2日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン1				
35	2月7日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン2				
36	2月8日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン3				
37	2月9日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン4				
38	2月14日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン5				
39	2月15日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン6				
40	2月16日	新入生歓迎ライブに向けた、バンドアンサンブルレッスン7				
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト						
注意事項	106時間中36時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名	Gt実習Ⅱ			担当講師	川畑 統正	
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師					
対象学年	1 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	27 回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標					
3期	1、2期の内容をさらに深め技術・知識を高め修得する。					
4期	音楽的応用とオリジナル性を深め修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月12日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズのレクチャー				
2	10月14日	フォームチェック、ピッキングやフィンガリング				
3	10月19日	カッティングエクササイズ、ミュート、ストローク、リズムなど				
4	10月21日	スケールエクササイズ、メジャースケール、インポジション				
5	10月26日	コードについて、オープンコード～バレーコードの仕組みと基本				
6	10月28日	コードについて、リズムコードのレクチャー				
7	11月2日	ブルースフォームによるリズムやコード				
8	11月4日	ブルースフォームによるテーマ、メロディ				
9	11月9日	メジャースケールエクササイズ、ブロークンポジション				
10	11月11日	マイナースケールについて種類と特徴				
11	11月16日	マイナースケールについて応用				
12	11月18日	ブルースの発展 ジャズ ブルース				
13	11月25日	ファンクリズムの導入と応用				
14	11月30日	インプロビゼーションの基本について				
15	12月2日	ダイアトニックコードについて				
16	12月14日	アベイラブルノートスケール、モードについて				
17	12月16日	コンピングについて				
18	1月18日	ブルースコンピング①				
19	1月20日	ブルースコンピング②				
20	1月25日	循環コードコンピング				
21	1月27日	ミクソリディアンスケールについて				
22	2月1日	ドリアンスケールについて				
23	2月3日	オルタードスケールについて				
24	2月8日	スタイル研究 ブルース、ロックなど				
25	2月10日	スタイル研究 ジャズなど				
26	2月15日	スタイル研究 Funkなど				
27	2月17日	スタイル研究 ボサノバ、ラテンなど				
評価方法	B評価 定期試験(筆記試験)の素点と実技修得度で評価					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト	各回授業にてプリント配布					
注意事項	72時間中25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	音楽理論Ⅱ				担当講師	水口 陽子	
講師実務経験	ピアノ講師						
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期 間	3期・4期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
3期	前期で学んだ基礎に加え、より広く様々なコードの仕組み、コード進行を習得する。						
4期							
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月13日	反復記号と演奏順序					
2	10月20日	ダイアトニックスケールとダイアトニックコード①					
3	10月27日	ダイアトニックスケールとダイアトニックコード②					
4	11月10日	譜表からのコード付け					
5	11月17日	メジャーにおける代理和音					
6	11月24日	メジャーにおける基本の終止とその他の終止					
7	12月1日	コード進行分析					
8	12月15日	マイナーにおける代理和音					
9	1月19日	マイナーにおける実用的な和音					
10	1月26日	マイナーにおける基本の終止とその他の終止					
11	2月2日	セカンダリードミナント①					
12	2月9日	セカンダリードミナント②					
13	2月16日	総復習、試験対策					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名	作詞Ⅱ		担当講師	吉田佳代	
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース		授業形態 座学
期 間	3期4期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
3期	構成のバランスを考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現を修得する。				
4期	構成のバランスを考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現。推敲を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月14日	ジャンルによる作詞の特徴(ロック)			
2	10月21日	擬人法			
3	10月28日	対句			
4	11月4日	呼びかけ法			
5	11月11日	個性的表現について			
6	11月18日	アブストラクト			
7	11月25日	時代を映す詩			
8	12月2日	造語			
9	12月16日	象徴			
10	1月20日	語呂合わせ			
11	1月27日	当用漢字・常用漢字			
12	2月3日	出だしの重要性			
13	2月10日	聴覚言語			
14	2月17日	作品のテーマを考える			
15					
評価方法	定期試験点数(70%)実技修得度(30%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42 時間中 15 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				